

あいネットニュース

AI-NET NEWS

NPO 法人 あいネットワーク大分

〒870-0029 大分市高砂町2番50号 オアシスひろば21(3階)
TEL(097)534-9600 FAX(097)514-3970

平成23年2月13日(日)
あいネットワーク大分『音楽会』vol.3開催に向けて

見えない“壁”を破りたい!!

毎回、パワーアップしていくあいネット主催の『音楽会』。来年2月、3回目を迎えるにあたり高熊博理事長に始めたきつかけや思いなどをお聞きしました。

『音楽会』を開催しようと思つたきつかけを教えてください。

数年前、大分交響楽団のファミリー・コンサートに招かれた際、開演前に「本日はこの会場にお越しのお客様のなかに音楽を聞きながら踊ったり、歌ったりされる方がいらっしゃるかもしれません。それはその人の喜びの表現ですから…」という挨拶があり、私もそれにとても感銘を受けたんですよ。

その“壁”は私たち一人一人の心のな

障がいのある人たちが演奏して、それをして何にしても、知らず知らずのうちに私たち自身が線を引いて“壁”がなってしまっている。だから“音楽”を通して、その垣根を解き放すことができるのではないかと考えました。

第3回の“聴き所”と“夢”を教えてください。

太鼓に津軽三味線、ヒップホップダンスに吹奏楽などジャンルの異なる静と動の音楽をラインナップしました。いつもはプロのオーケストラを呼びたいし、それを夢で終わらせないよう私たちも頑張って続けていきたいと思っていました。みなさん、お誘い合わせのうえぜひお越しください。

開催するにあたって決めたことはありますか?

そうですね。私たちや福祉関係の人たちにも初めから行けないものなんだとか、たぶん遠慮心からくるものなんでしょうが、自ら垣根を作ってしまっていふようなところも見受けられます。また“障がい者の音楽会”というう

まだまだ“壁”はあるんですね。

障がいがあるゆえにコンサートに行けないというのはホント考えたらおかしな話で“障がい”という概念を捨てなければならぬのは、私たちのほう



まずは上質の音楽を届ける。そして障がいの有無に関わらず料金は同じ、席も自由、みんなが一緒になつていい音楽を聞く。第二義はグランシアタという県内でも有数なコンサートホールで聞く、といふことです。聴衆の一人としても日常とは違う経験ができるし、まして演奏者として一流の音楽家たちと同じ舞台に立てるという喜びも生まれ、みんなものすごく意欲をかきたてられ猛練習するそうです。

interview

「自分でできないと思って
線を引いたらそこで終わり、
何事もあきらめないで挑戦して」

『チク・タク』から巣立ち
接客業に就いたK・Nさん(男性)

就職したのはことしの2月で最初の3か月は試用期間ということで10~14時の15日間でした。いまも5日連続で働く体力はないので2日行って1日休んだり時間は9~15時と少し長くなりました。先日、やっと若葉マーク(※新人バッジ)がとれました(笑)。

『チク・タク』に通うようになったきっかけは博愛会の相談員の方の訪問を受け、自分を変えたいと思っていたのですぐに通い始めました。最初は週一度、午前中だけでしたがとてもしんどかった。でもメンバーとはすぐに打ち解け、手先を上手く使う包装という作業が自分に合っていたのかストレスもなく集中力がつきました。1年半ほど通ったある日『大分プラザ』(※別枠参照)を通して就職の話がありました。

初めての接客業で希望より不安のほうが大きく、いまでも敬語は苦手だし、時々、お客様の前で頭が真っ白になったり(笑)。ただ職場環境に恵まれておらず、マネージャーからも「困ったことはない?」とよく声を掛けられてくれるのではないかと感じています。

『チク・タク』のみんなに言いたいのは、何事も自分でできないと思って線を引いたらそこで終わるので、とにかくあきらめないで、とりあえずやってみてほしい。たとえば難しい作業の場合もくさらずに一所懸命やればできると思うし、そのことで自分のできる範囲は確実に広がるはず。僕も余裕ができれば遊びにいきたいと思っています。

あいネットと同居している『障害者就業・生活支援センター 大分プラザ』とは?

就職を希望している障がいのある人や在職中の障がいのある人を対象にハローワークや福祉事務所等の関係機関と連携し、さまざまな支援制度を活用しながら就職の紹介や仕事を続けていくための日常生活面をも含めた支援を行なっています。

もっと知ってほしい!!

小規模作業所

『チク・タク』

★オアシスタワーとい
う
市街地の真ん中にあるワケ

小規模作業所『チク・タク』は大分県内に住む知的障がいや精神障がいのある人たちが安心して暮らせるようにと支援しており、小規模作業所『チク・タク』を併設しています。一般的に小規模作業所といえば郊外に立地していることが多いのですが、自力での移動手段を持たない障がいのある人にとっては誰かにお願いしなくてはなりません。そこで街中にあれば自分の目指す時間に合わせて公の交通機関を利用して行くことができます。また大分市の中心地で働いているという自信も生まれてくるのではないかでしょうか。

★得意な作業は包装や箱作り etc

月曜から金曜まで常時10人ほどの知的

障がいや精神障がいのある人たちが、包装・箱作りなどの作業に励んでいます。包装紙の柄を見ながら折る位置を決め丁寧に折る人一方、折ることが苦手な人は品物を箱に詰めたり、シールを貼つたり各人に合わせた作業を提案しています。TVドラマや歌の話で盛り上がりながらも手はしっかりと動き、商品を完成させています。

★気軽に利用→訓練→就職へ

『チク・タク』は仲間たちと親交を深めて訓練する、まずは短時間でもいいので人とふれあうことから始めてみてはどうですか? とすすめています。生活のリズムを取り戻すことでも重要で、いわば『チク・タク』が次のステップに進むための“つなぎの場”になればと願っています。実際、介護

補助や接客業などに就いた利用者さんもいますし、そして、そのことが他の利用者さんへの良い刺激になっているようでみんな日々意欲的に取り組んでいます。



全国送料無料

年末年始のごあいさつに “久住高原パルクラブ”の お歳暮ギフトを よろしくお願ひします!

問合せ先 / NPO 法人あいネットワーク大分
☎ 097-534-9600

<http://www.palclub-kuju.com/>

新発売



手作りハンバーグ(5枚) 4,500円

人気!



久住高原セット
3,150円

豊後黒毛和牛サーロインステーキ
(3枚) 10,500円



注目

ご注文承り期間 2010年12月25日まで

“兄”は母が私に残してくれた“財産”

家族の声

兄はほどなく 70 歳になりますが、幼い頃から素直でおとなしく、子どもらにせがわれても決して暴力をふるつたりしませんでした。父が早く亡くなり、私が就職した後は母と二人暮らしをしていましたが、母もだんだん歳をとっていくので周りが心配し博愛会にお世話になることになりました。当初、母は兄を預けることに躊躇していましたが、施設に連れて行った帰り際、兄がうれしそうに手を振る姿を見てとても安心したと話していました。以来、半世紀余り、周りのサポートのおかげで平穏に暮らしてこれたと感謝しています。

毎年、母は盆・正月になると電車とバスを乗り継いで迎えに行っていましたが、後年、足腰が弱った後は私がその役目を引き継ぎました。その母も 10 年前に亡くなり、いまの私にとって “兄” は母が残してくれた “財産” だと思って、母の供養をするような、また自分は兄弟ですが親のような気持ちで接しています。幸い、家内も 1 週間でも 10 日でも気持ち良く面倒をみててくれるし、嫁いだ娘たちも理解してくれているので、私に “もしも” のことがあっても心配はしていません。3 つ下といってもこればっかりは順番通りにはいきませんから (笑)。ただ、



いま兄は元気ですが、手を取るようになった時にどうなるのか、いずれは博愛病院のお世話になるでしょうが…。私たちもあいネットに頼るばかりではなく研修会に参加したり、自助努力していくないと、と思っています。

兄はたまたま障がいを持って生まれてきて、当時のいろんな事情でまともに義務教育を修めることができませんでしたが、晩年はこうして福祉ホームで快適に何不自由なく暮らせていいなど、こんなに幸せでいいなどちょうどうやましい気持ちさえしています (笑)。(60 代男性)

法律相談

顧問弁護士

三井 嘉雄 先生

による個別法律相談(※相談無料)を
隨時受け付けています。



心配事等あれば、あいネット事務局まで
お気軽にご連絡ください。



あいネットワーク大分 音楽会 Vol.3

とき 平成23年2月13日(日) 開場13時・開演14時

ところ iichiko 総合文化センター「iichiko グランシアタ」

入場料 500円

出演団体 大分県庁職員吹奏楽団

鈴木利枝(津軽三味線奏者)

タイムスダンススタジオ(キッズヒップホップダンス)

糸口太鼓(社会福祉法人大分県社会福祉事業団大分県糸口学園)

チームアップル(社会福祉法人アップルミント)



大分県庁職員吹奏楽団



津軽三味線奏者
鈴木利枝



「あいネット日記」

ジャンベの音色に心寄せて

はじめまして、辻野です。

私の次女は平成7年8月1日から
博愛会にお世話になっております。当
初はコロニー久住に入所し頑張つて作
業に励んでいましたが、みんなについ
ていけず、担当者や施設長との話し合
いの結果、第二博愛寮に移りました。

15年にわたり、博愛会にはいたいへんお
世話になり感謝申し上げます。

時間の流れはほんとうに早く、子ども
も私も確実に歳を重ねてまいりました。
毎年開催されるコロニー久住の秋
の収穫祭や第二博愛寮のファミリー交
流会など、子どもや父兄、職員が一体
となつて楽しいひとときを過ごさせて
いただきました。それも、これも、ひ
とえに博愛会各施設の職員・関係者の
お陰でございます。今後ともよろしく
お願い申し上げます。

いろんなイベントで娘の叩くジャン
ベのリズムを聴きながら、その音色に
過去を懐かしみ、未来に希望を見出
しております。収穫祭の舞台上でみん
なと共にうれしそうに歌い、踊り、叩
く様は現実であり、私たちの喜びでも
あります。みなさん、力を合わせて「幸
せ」を勝ちとろうではありませんか。

(第二博愛寮保護者会会長) 辻野里行

**コロニー収穫祭
“バザー”協力に感謝**

10月31日(日)コロニー久住で「収穫祭」が開かれ、昨年建立された供養塔の前で厳かに慰靈祭が執り行なわれました。「あいネット」では毎年恒例のお化粧教室やりサイクルバザーを行ない、特にバザー開催にあたっては多くの方々から大切に保管されていた品物を多数ご提供いただき、紙面をかりて心から感謝申し上げます。今後とも「あいネット」の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。